

1. 注意事項

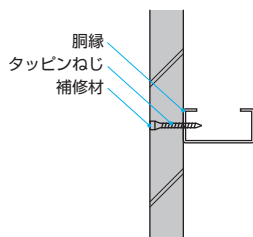
⚠ 警告：基本的なご使用方法

- ヘーベルライトはラス網(または鉄筋)で補強した軽量気泡コンクリートで水平せん断力の負担はできません。非耐力の壁または屋根の野地板(屋根下地)としてご設計ください。
- 鋼製または木製の胴縁や柱木に対して長辺が直交するようにパネルを配置した多点支持とし、鉄骨用タッピンねじまたは木造用ねじで取り付けます。
- 床(バルコニー床を含みます)や歩行屋根などの水平部位への使用はできません。非歩行屋根の野地板(屋根下地)としてご計画の場合は後述のハイノジ50をご検討ください。
- 特に大きな集中荷重や衝撃を受けるおそれのある場所にはそのままでは使用できません。自動車が入り出りするような場所では適宜補強が必要です。
- 規格化されたパネルの特性を生かして、幅および長さの倍数を基本にして設計する事が、美観や施工性、経済性の面からも効率的です。

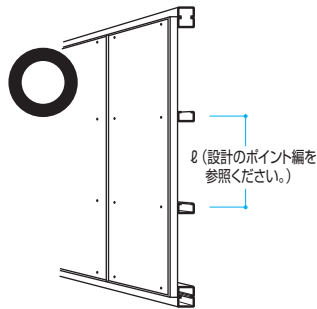
パネルのモジュールに合わせて美しく経済的な割付けを



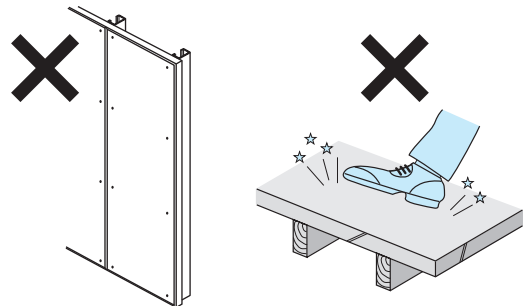
パネルの取り付け標準部



正しい支持方法(縦張時)

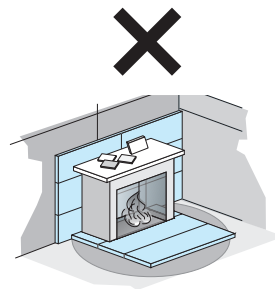
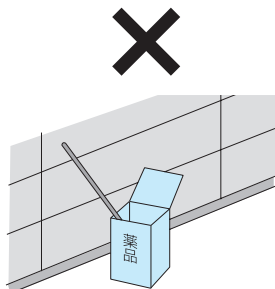
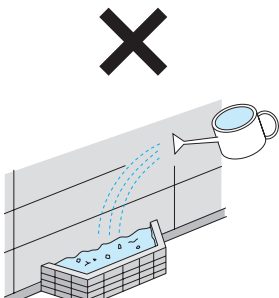


誤まった支持方法



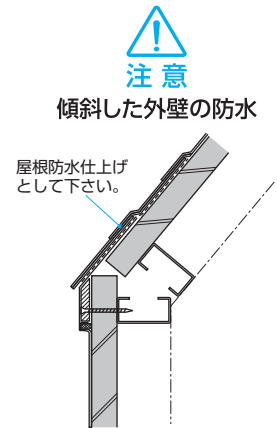
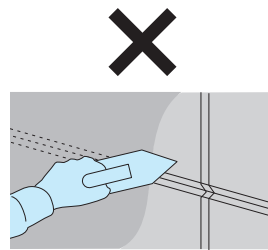
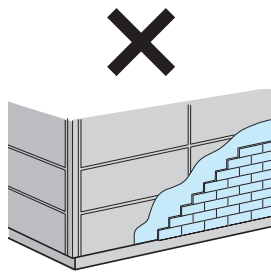
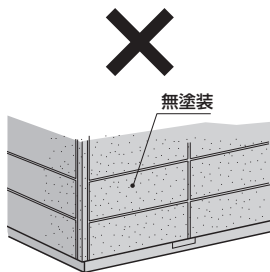
⚠ 注意：使用環境による注意点

- 常時土または水に接する部位や、常時湿潤する部位への使用はできません。
- 炭酸ガスや塩素ガスなどの浸食性ガスが高濃度となる雰囲気中での使用はできません。
- 常時高温(50℃)となる部位や場所への使用はできません。
- 過度に湿度が高い用途(プールや浴場など)での使用は適しません。



⚠ 注意：仕上げに関する注意点

- 外壁としてご採用の場合、目地部およびサッシなど他部材との取合部は、現場シーリング材での防水が必要です。
- 外壁の仕上げは、仕上塗材などの吹付け仕上げをお願いします。
- タイル張りやモルタル塗り仕上げはひび割れや脱落のおそれがあるので適しません。
- 目地をモルタルなどで消しての仕上げはひび割れや漏水のおそれがあるので適しません。
- 傾斜した外壁や屋根の野地板(屋根下地)としてご採用の場合は、塗膜防水や吹付け仕上げ程度では防水性が不十分です。屋根と同仕様のしっかりとした防水仕上げとしてください。
- 室内側も仕上げをご計画ください。特に屋根の野地板(屋根下地)としてご設計の場合、居室には天井を標準としてください。素地のままで使用すると、パネルの色違いや補修跡、汚れが目立つことがあります。またパネル面からの微量な粉落ちのおそれがあります。



⚠ 警告：関連工事に関する注意点

- パネル本体には、ねじなどの保持力はありません。重量物や手すりなどは下地材へ固定してください。
- 換気口や設備配管などを貫通させる工事はパネル強度を損なうおそれがあります。穴あけの目安を超える場合は補強をお願いします。
- 屋上の目隠し壁に使用する場合など、ヘーベルライトの取付部(下地鋼材・ねじなど)が雨がかりしないように防水仕上げを行ってください。
- ヘーベルライト施工後の内装工事において、下地胴縁にくぎ止めなどの過度な振動を与えると、ヘーベルライトの取り付けねじの補修部に不具合が生じるおそれがあります。
シーリング工事や塗装工事直後の内装くぎ止めも表側の目地に影響します。シーリング工事の施工前または十分に硬化してからかつ塗装工事の施工前に、内装材のくぎ止めを行うなど、施工手順をご検討ください。

